

# みぶのしょう 壬生野小だより

伊賀市立壬生野小学校  
2023年11月17日  
発行責任者 藪中 俊典

## 新堂駅前に「SHINDO YARDS」ができました。

ご存じの通り、上野図書館の分館である「いがまち図書館」や伊賀市役所の伊賀支所や銀行などが入った新しい複合施設「SHINDO YARDS」が6日、JR新堂駅前にオープンし、そのオープニングセレモニーに出席しました。

子どもたちが利用する図書館は、「BOOKMARK STORAGE」と名付けられた建物の2階にあり、地元企業の社員の方や専門家の方が集めた幅広いジャンルの書籍や、伊賀市の歴史や郷土を学べる資料などあわせて約2万冊が並べられています。

ただし、貸出が可能な書籍が並べられている「いがまち図書館」のエリアと、その建物内での閲覧のみとなる書籍が並べられているエリアがありますのでご注意ください。広々とした空間の壁一面に、色とりどりの、思わず手を伸ばしたくなる本がいっぱい並べられており、そこに足を踏み入れるだけでうれしくなる、まさにそんな感じの空間です。1階には、カフェやテラス席、また机やソファなどもあり、リラックしながら本を読んだり、学生のみなさんが自習をしたりすることもできる空間です。

地元企業の関係者の方は、「この施設を地域の発展や住民の交流の場として活用してほしい」と話されていました。また、「地域の子どもたちに読んでもらうことで教育水準を上げられたら」とも話されていました。

近くにできた素敵な施設です。是非とも、お子さんとも何度も足を運んでいただきたいですが、開館時間が午前9時から午後9時（年末年始を除く）までと、遅くまで開かれていますので、保護者の方だけで訪れて、最近、流行のCMではないですが、「ちょっと」気分転換の場として活用していただいてもいいのかなと思いました。



## 4・5・6年生 学習発表会 (11/15)

15日(水)には、4・5・6年生の学習発表会と学級懇談会を開催しました。どの学年の発表も、みんなで創り上げたことが伝わってくる発表でした。

### 4年生

4年生は、学級目標の「笑顔 満開」を実現するために、みんなで考えてきた「伝える言葉」についてや、ユニバーサルデザインの学習を通して学んだ「声をかけあうことの大切さ」、そして、小池さんと水谷さんとの出会いから学んだ「なかま」について伝えました。みんなで考えた動作もつけながら、みんなが一つになった発表でした。

### 5年生

5年生は、四日市公害について学習してきたことを、報道番組風に、司会者と教授の解説をもとに、当時の様子を劇で再現していきました。コンピナートの稼働により海や大気が汚染され、生活が一変していった当時の様子。企業に訴えるも、言い逃れをする企業。そして、校外学習でお話を聞いた谷田さんの家族の様子などを劇で再現することで、「四日市のような出来事は二度と起こしてはいけないこと」「勇気をもって裁判を起こした人たちのように、自分の思いをしっかりと伝えていくことが大切であること」「本当のこと、真実を確かめて、行動することが大切であること」などをみんなに伝えました。長いセリフも多かったですが、みんなしっかりと覚えて言えていた姿に、子どもたちの「伝えたい」と思いを感じました。

### 6年生

6年生は、去年も登場した「みんなの人権まもるんジャー」と一緒に、この半年、みんなが安心して過ごすために取り組んできたことを発表しました。松村元樹さんとの出会いから、「決めつけた見方が自分の中にないかを振り返ること」、「友だちと本音で話すことができるようになるためにも、まずは互いのことを知り合うことが大切であること」を学んだことを伝えました。識字学級に通うおばあちゃんの姿からは、「差別をなくす仲間としてつながっていくこと」や、「苦手なことから逃げないことが大切であること」などを伝えました。また、修学旅行を通して、知らなかった友だちに気づくことができたことも伝えました。最後の一糸乱れぬ和太鼓の演奏からは、6年生の絆の強さが感じ取れ、頼もしく思いました。

